

令和7年度第2回多摩市在宅医療・介護連携推進協議会

要点録

○協議会概要

開催日時	令和8年2月20日（金） 19時00分～20時30分
出席委員	新垣 美郁代 会長 明石 のぞみ 委員 鈴木 康之 委員 金沢 久実 委員 澁谷 香代 委員 渡邊 郁子 副会長 齋藤 伸介 委員 岡部 義憲 委員 岡田 美保 委員 今泉 幸子 委員 (計10名)
欠席委員	三浦 未来 委員 前山 英之 委員 永富 晴美 委員 (計3名)
事務局	健康福祉部長 伊藤 健康推進課長 原島 地域ケア推進係長 朝倉 地域ケア推進係 萩原 小林 遠藤 多摩市高齢者在宅療養支援窓口 相談員 淵野 介護保険課長 齊藤 障害福祉課長 平松 (計9名)
公開区分	公開
傍聴者	0名

○議事内容

1 事務局より

- 全委員より挨拶
- 会長・副会長選出：会長・新垣委員 副会長・渡邊委員

2 報告事項

(1)「入退院時の連携からの日常の療養支援」課題・まとめ

【事務局】

資料1を説明。

活動のまとめ 療養場所は自宅が基本。

見えてきたこと3点

- ・入退院時の連携の重要さ
- ・ACPは身寄りのない人の意思表示としても重要
- ・在宅療養の報告の方法のPRが必要。

(2) 令和7年度医療・介護関係者の研修実施報告

【事務局】

資料2を説明。

【会長】日医大の方の指導が理解できた。患者相談窓口の利用が分かった。特に外来時の具合が悪い時に誰が相談してくれるのだろうか。

【委員】退院時の連携は意外とスムーズ。外来の相談窓口があることが分かってよかった。

【委員】2回目の研修に参加。会場が狭くて声が聞こえにくかった。

【委員】1回目に参加。グループワークの顔の見える関係は重要。薬剤師さんが退院カンファレンスに参加できないことが多いのが残念

【委員】2回目参加 Drが在宅の熱心な話をされてありがたい。リハ職の参加が少ないのが残念。

【委員】柔道整復師はけがの治療が多い。在宅療養で何ができるか考えていきたい

【委員】困難事例が多くて驚いた。グループワークが聞きにくかったので工夫したい

【委員】グループワークが課題を絞ったほうが良かった。事例がないと今の自分の現状を話すことになった

【委員】いろいろな課題が出たことは分かった。できるところから取り組む。WEBでの参加ができる　と　いいと思う。

【委員】外来の患者を診ているので、まだ元気な方が多い。認知症の人とかは一人で来る。心配なケースに関わる人が分かるといいなと思う。お薬手帳のように担当が分かるものがあるといいと思う。

【会長】確かに支援者（CMさん）が誰かが分かるとうい。一人で身寄りがない人への対応の困難さが多い。支援する連携があると良い。親族でなく近所の方とかでも手伝えるといい。

(3) 多摩市高齢者在宅療養支援窓口実施報告（中間報告）

【事務局】在宅療養支援窓口の淵野より、資料3-①、3-②を説明

- 相談者に市民の割合が増えている。たま広報、医師会のHPの効果。
- 相談者の年齢が高い。往診の依頼が多い。
- 情報提供のリスト化更新している。

【会長】口コミで相談が増えるのは良い。いかに使いやすいかもっと口コミで伝えるべき。

【委員】元気塾の方は元気なので、どこにかかればいいのかという声を聞いている。元気なうちに相談先が分かることがいい。

【委員】実際に相談を受けることが多い。介護保険や包括支援センターを勧めるが窓口のことも勧めたい。

【委員】気軽に聞くといい。包括支援センターにも忙しいと思うと窓口を紹介するのもよい。

【委員】経年変化を知りたい。相談内容の変化や、複雑な内容になっていることが見える化できないか。

【窓口】市境の方については相談窓口の連携をとっている。ゴミ屋敷。多問題。1件の相談時間も長くなっている。

3 協議事項

(1) 令和7年度多摩市在宅医療介護連携推進協議会のテーマ(案)について

【事務局】資料4を用いて要点を説明。

- 多摩市在宅医療介護連携推進協議会(在宅療養を支える拠点として)の活動について
- 市民の方向けの普及啓発が少なめ。令和8年度はしっかりと取り組んでいきたい。

【会長】雑ぱくですが、人材の育成とともに、日常の療養支援についてでいいと考えます。

【委員】事例検討などを通し令和7年度の医療(病院)サイドの話を在宅に落とししていくことが必要。

【委員】医療側の話。事例検討とか入院中は内服するが在宅側では飲めない。抗うつ剤を長期間に渡り飲んでいて高齢者が、さんざん苦しんでいたが、服薬をやめたら元気になった事例もある。薬のことは本当に重要であると感じた。

【会長】認知機能と内服は関係ある。

【委員】本人は飲んでますよと言うが、家に行くと残っている。在宅時の制度はだいぶ変わってきている。薬の一包化。減量して抜くこともあるが、その手間に費用はない。

【委員】退院時支援とは距離がある。在宅で何ができるのかお話できるといいが、病院に関することがもっと理解できると良い。

【委員】感染予防。在宅時は口から食べることが重要と思っている。薬や食事ができなくなった時にどうしたいかACPで考えておきたい。

【会長】いろいろな在宅療養がある。薬や柔整の役割など意見が出たので事務局で考えてみてください。

(2) 令和8年度年間スケジュール案について

【事務局】資料5について説明

一同同意

4 その他

- 協議会の開催日程について。固定したい。第3木曜日かどうか。→OK
- 令和8年度第1回協議会は令和8年5月22日(金)で決定。
- 第2回協議会は、令和9年2月18日(木)となった。

【会長】 次回の開催日は令和8年5月22日(金曜日) 19:00開催。
会場は後日。

以上